

夏休み 工作つくった 標本集めた



夏休み中の子供たちをターゲットに、工作や標本づくりなど数多くのイベントが開かれました。「宿題ができた。おもしろかった」。元気いっばいの声に、グループわのスタッフも、にこにこ顔でした。

夏休み工作塾（8月8日） しあわせの村・研修館ホールは、10時の開始前から親子連れが長い行列。木工工作・ケナフ紙すき・織り染め・草木染め・名札作り・ネイチャークラフトのブースがおかれ、別室では昆虫標本づくりも。自由参加とあって600人以上が押しかけ、スタッフの指導で、お目当ての作品づくりに汗を流しました。1人で何種類にも挑戦する子供たちもいて、用意した材料が早々なくなるブースも続出。わの責任者もびっくりするほどの人気ぶりでした。

昆虫採集は抽選で25組が参加。ピオトープ付近でバッタやトンボ、セミなどを捕まえ、研修室に持ち込んで名前を調べ、スケッチに描いてから自然に返してやりました。



【写真上から】
木工・折り染め・
昆虫採集・紙漉き。右端は須磨海岸

須磨海岸で遊ぼう（7月25日）

炎天の海岸で貝殻や小石、海藻を拾い集め、一の谷プラザに持ち帰って標本づくり。西宮市貝類館の高田好治さんから貝類についてのお話もあり、親子ら20人の参加者は熱心に聞き入っていました。貝殻でネックレスを作ったり、絵手紙グループの指導で小石に絵を描いたり。出来上がった作品はみんなの前で披露しました。